
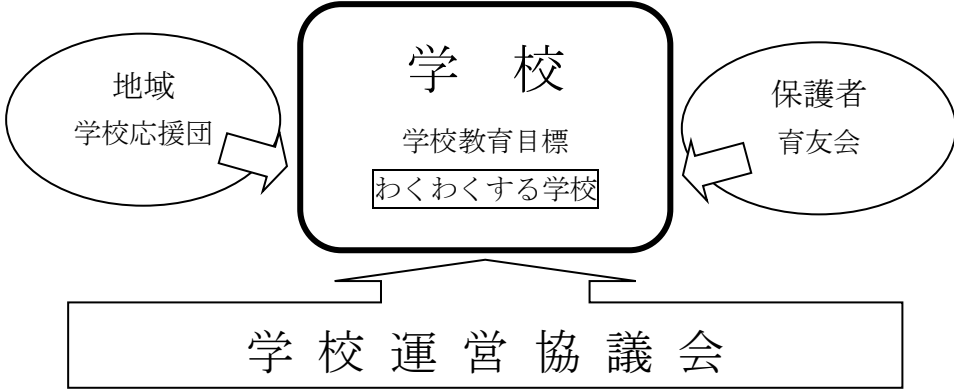


地域とともに創るふるさと学習

～学校・育友会・地域が連携した学習の推進～

柳井市立伊陸小学校育友会

<p>P T A 名称</p>	<p>柳井市立伊陸小学校育友会</p>	
<p>所在地</p>	<p>柳井市伊陸5856番地1</p>	
<p>学校地域の 概要・組織</p>	<p>【学校地域の概要】 本校は、柳井市北部の盆地に位置し、氷室山・銭壺山・琴石山といった山々に抱かれた自然豊かな地域にある。四季折々の風景に恵まれ、静かな農村地帯にあり、児童は落ち着いた環境のもと学んでいる。一方で、周東大規模農道をはじめとする幹線道路が通り、交通量も多いことから、登下校の安全確保は地域全体で取り組む重要な課題となっている。</p> <p>学校行事や参観日への参加率は高く、保護者が学校と協働して教育活動を支える体制が整っている。また、地域住民も教育への関心が高く、学校の活動に対して協力的で、日頃から学校と地域が支え合う関係が築かれている。</p> <p>【学校地域の組織】 育友会と地域が連携し、学校の教育活動を支える協力体制が整っている。日頃から保護者と地域住民が学校の取組に参画し、協働を通して支え合う関係が育まれている。こうした協働の基盤となっているのが学校運営協議会であり、下図のように、学校・保護者・地域が一体となって教育環境をより良いものにしていく取組が進められている。</p> <div style="text-align: center;">  <pre> graph TD A([地域 学校応援団]) --> B[学校 学校教育目標 わくわくする学校] C([保護者 育友会]) --> B B --- D[学校運営協議会] </pre> </div>	

<p>研究テーマ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 0 auto; width: fit-content;"> <p>地域とともに創るふるさと学習 ～学校・育友会・地域が連携した学習の推進～</p> </div> <p>学校が進めている地域連携カリキュラムの中で、「ふるさと伊陸」をテーマとした学習をさらに充実させるため、学校・育友会・地域が協働して取組を進める。創立150周年記念事業と関連させ、地域の歴史や文化を学ぶ活動を深めながら、児童がふるさとへの理解と愛着を感じられるよう、学習環境の整備や体験的な学習活動の充実を図り、学校・育友会・地域が協働して取組を進めていく。</p>
<p>成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <p>今年度は、創立150周年という節目を迎えるにあたり、学校の沿革や校舎の変遷、そして児童が取り組んだ行事や学習の様子をまとめたリーフレットを作成した。地域の歴史や学校の歩みを視覚的に振り返ることができる資料となり、児童・保護者・地域住民が共に伊陸の魅力を再認識する機会となった。また、リーフレット作成の過程では、育友会や地域の方々から写真資料の提供や編集作業への協力を得るなど、学校と地域が一体となって取り組む姿が見られ、協働の質がさらに高まった。</p> <p>ふるさと学習においても、地域の歴史や文化を学ぶ活動を充実させ、児童が自分たちの暮らす地域への理解と愛着を深めることができた。地域講師による指導や体験的な学習活動を通して、児童が主体的に学びに向かう姿が多く見られたことは大きな成果である。</p> <p>【課題】</p> <p>学校の小規模化が進み、教職員数や育友会の構成員も年々減少していることから、学校行事や育友会活動における一人一人の負担が大きくなる可能性が高まっている。今後は、活動内容の精選や役割分担の見直しを進め、持続可能な体制づくりが求められる。</p> <p>また、学校運営協議会や地域ボランティアの活動については、保護者への周知が十分とは言えず、参加者が限定されている状況が続いている。活動の意義や内容をより分かりやすく伝え、参加しやすい環境を整えることが必要である。</p> <p>これらの課題を踏まえ、学校・家庭・地域が持続的に協働できる体制を整え、地域とともに歩む「学校づくり」「育友会づくり」を継続していくことに努めていきたい。</p>

活動内容

【「ふるさと伊陸」…ふるさと学習】

学校地域連携カリキュラムを生かしながら、児童は地域の産業や伝統文化について調査・体験を重ね、ふるさと伊陸への理解を一層深めることができた。記念の年にふさわしく、保護者や地域の皆さまにも多くご協力いただき、地域の魅力を再発見する豊かな学びとなった。

(1) 創立150周年をお祝いしよう

今年度は創立150周年の節目の年であり、学校ではさまざまな記念行事を計画・実施した。その中の一つの取組として、これまでの本校の歩みを振り返る「創立150周年記念リーフレット」を作成した。リーフレットには、創立当時の本校の歴史や沿革、旧校舎の写真、現在の校舎の様子などを掲載し、保護者・児童へ配付することで、地域とともに歩んできた本校の姿を共有する機会とした。

今年度実施した記念式典をはじめとする多くの行事には「150周年記念」の冠を付け、例年以上に盛大な形で実施した。

また、式典に向けて、児童が花壇や一鉢の整備を行い、色とりどりの花で学校を飾り、節目の年を祝う温かな雰囲気づくりに貢献した。

これらの取組を通して、児童が自校の歴史に触れ、地域への誇りや愛着を深める貴重な機会となった。



150周年記念リーフレット

児童による苗植え

(2) 環境整備活動(育友会・ボランティアの活動)

育友会や学校応援団(地域ボランティア)の方には、今年度も継続して、運動場や芝生広場、通学路など、児童が日々学び・生活する環境の整備に力を尽くしていただいた。定期的な草刈りや清掃、危険箇所の点検など、細やかな支援のおかげで、児童は安全で心地よい環境の中、安心して学校生活を送ることができた。



活動内容

(3)梅収穫体験をしよう

地域の特産物である「梅干し」についての学習を全校で実施した。梅の実の収穫体験では、スクールバスを活用して梅園近くまで移動し、どの学年もゆとりをもって体験に取り組むことができた。収穫前には、梅干しが漬け込まれている樽の見学を行ったり、梅干し作りの具体的な工程について、詳しい説明をしていただいたりし、地域の産業としての梅干しづくりへの理解を深めた。

事前には、育友会や地域の方が梅園までの経路の草刈りや整備を行ってくださり、そのおかげで全校児童が安全に活動を行うことができた。



(4)伊陸フェスティバル新鮮市場に参加しよう

本校を会場として開催された地域行事「伊陸フェスティバル新鮮市場」に、今年度も児童が参加した。地域の諸団体による野菜や特産品の販売ブースでは、3～6年生が店頭での呼び込みや品物の受け渡しなどの手伝いを行い、地域の方と協力しながら活動する姿が見られた。

また、1・2年生は生活科で制作したリースやツリーを販売し、大きな声で呼び込みをするなど、地域の一員としての自覚を感じさせる頼もしい姿を見せた。

地域の方と直接関わり、喜んでもらえる経験を通して、児童は自分の役割を果たすことの嬉しさを実感し、自己肯定感を高める貴重な機会となった。

